

広野中学校 子ども議会を開催



広野町議会議場において12月21日(水)に
広野中学生らが子ども議会を行いました。

広野中学校9名が議員役として務め、大和田美香さんが議長となり議事を行いました。議員役の生徒は町政への質問を中学生ならではの質問や考えなど広い意見が出され、町長および各課長からの答弁が行われました。子ども議会は平成22年度以来の開催となります。



おおわだ みか 議長
大和田 美香

広野駅にある 町内マップについて



ひろた 廣田みのり 議員

質問 広野町は外国の方も多く移住してきているため、初めて来た人や海外の人にもわかりやすく、英語などを取り入れたマップに書き換えてみてはいかがでしょうか。

また、住宅地の整備も進んでいるので、この機会に誰が見ても広野町の良さがわかるような地図になることを提案します。

復興企画課長 広野町の玄関口である広野駅は、観光案内の出発点であり、町のあらゆる情報を受け取る重要な場所にあたると思っています。

現在、町は、広野駅の改修および周辺の再開発を行っています。令和4年度において、駅構内と未来の架け橋にエレベーターを設置し、駅の東側の復興拠点エリアと西側の町中心部を結ぶ利便性を向上させました。

今後、駅舎を新しく改修し、フリーWi-Fiの設置や待合機能の充実を図ります。また、駅西側広場を安全に利用できるよう新しくロータリー化

ど開発を進めていきます。

「質問の「町内マップ」については、現在のマップは震災以前の物であり、適宜修正を加えてきましたが時勢にはあっていません。町は、これから進める広野駅の改修およびロータリーの整備に合わせて、デジタル化を視野に検討しています。案内マップがデジタル化されれば、マップの修正や観光案内も容易になり、外国人に向けて案内内容の多言語化も可能となります。魅力ある情報発信ツールとして活用できるように取り組んでいきます。

広野町に住んでいる 外国人の保険証について



しが ゆかこ 議員
志賀由佳子

質問 広野町には、海外から移り住んで工場で働いている方がいます。その方たちが安心・安全に暮らすためには、医療や福祉などの環境を整えることが重要です。保険証がないと全額個人負担と聞きましたが、外国の方が今後も広野町で暮らしていくことを考えると、とても大変ではないでしょうか。町としての政策は、何かありますか。

の販売の他に、フードコートやゲームセンターなども設置されていたと伺いました。今の広野町の環境を考えると、こうした複合的な商業施設があった方が、住民の利便性が高まると思われませんが、町としてどのようにお考えでしょうか。

産業振興課長 A・I・A・I協同組合 ショッピングプラザ広野(通称:アイアイ)は、昭和57年10月に8つのテナントが入る総合ショッピングセンターとしてオープンし町内外からの利用客で賑わいを見せておりましたが、東日本大震災の影響により閉店しました。

町は、東日本大震災および原子力発電所事故による全町避難から住民の帰還を促進するには商店など買い物の利便性を高めることが急務であると捉え、平成28年3月5日、スーパーマーケットのイオン広野店、飲食業2店舗、クリーニング店、リフォーム店の5つのテナントが入る公設商業施設「ひろのてらす」をオープンさせました。現在も町内外からの多くの利用客で賑わっており、利用客のニーズに答えながら「ひろのてらす」の運営に取り組んでいます。

今後、新たな商業施設の整備につきましては、地域住民のニーズを見極めたいので、国、県、関係団体とも協議しながら検討します。

A・I・A・I



かいわ 柏 議員
そうた 宗汰

質問 広野町には、震災前にA・I・A・Iという商業施設があり、食料品や衣服